

第1回 福井市水道事業ビジョン 策定委員会

～ 水道事業ビジョン2020中間見直し～



令和6年6月24日

福井市上下水道局
経営部 経営管理課

第1回委員会の議題

- 1 水道事業ビジョン2020について
 - (1) ビジョン策定の背景
 - (2) 水道事業ビジョン2020の概要
 - (3) 各種指標の概要と進捗状況
- 2 ビジョンの中間見直しについて
 - (1) 中間見直しの趣旨
 - (2) 中間見直しの内容(案)
- 3 次回委員会について

1 水道事業ビジョン2020について

(1) ビジョン策定の背景

- ・ 大正13年に給水を開始し、戦災・震災からの復旧を経て、水需要の増加に対応するため、拡張事業を実施してきた



- ・ 人口減少等に伴う水需要の減少や、施設の老朽化の進行



「拡張」から「大規模更新・再構築」へと転換した状況に対応するため

< 平成22(2010)年3月 >

「福井市水道ビジョン」を策定（計画期間：H22～H31）

1 水道事業ビジョン2020について

(1) ビジョン策定の背景

<前ビジョン策定後の状況>

水需要は
減少

施設の大量
更新時期が迫る

地震や豪雨被害が
全国的に頻発

国は「新水道ビジョン」を策定（平成25年3月）



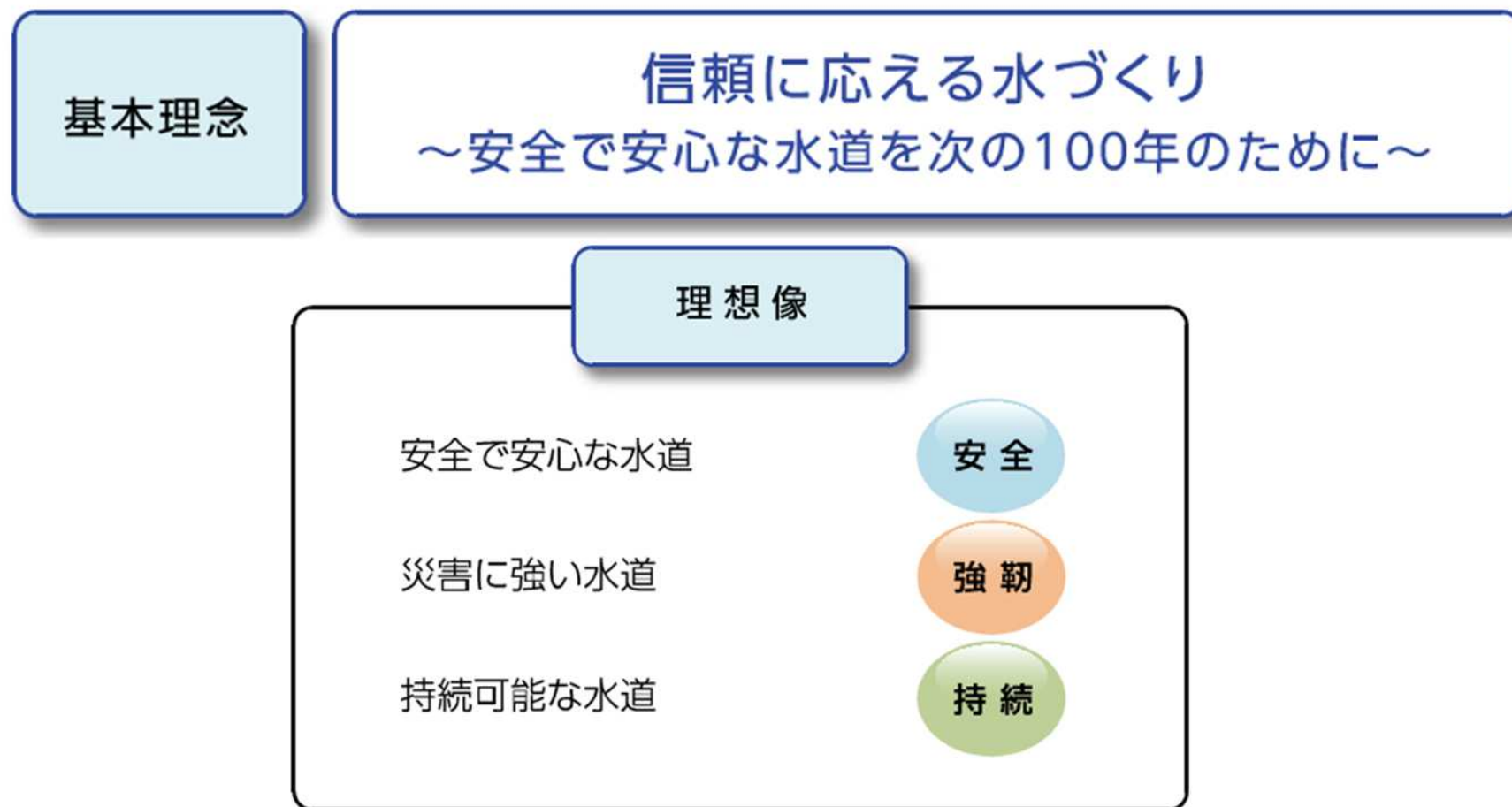
前ビジョンの方向性は継承しつつ、国の方針や環境変化に対応するため

<令和2（2020）年3月>

「福井市水道事業ビジョン2020」策定（計画期間：R2～R10）

1 水道事業ビジョン2020について

(2) 水道事業ビジョン2020の概要

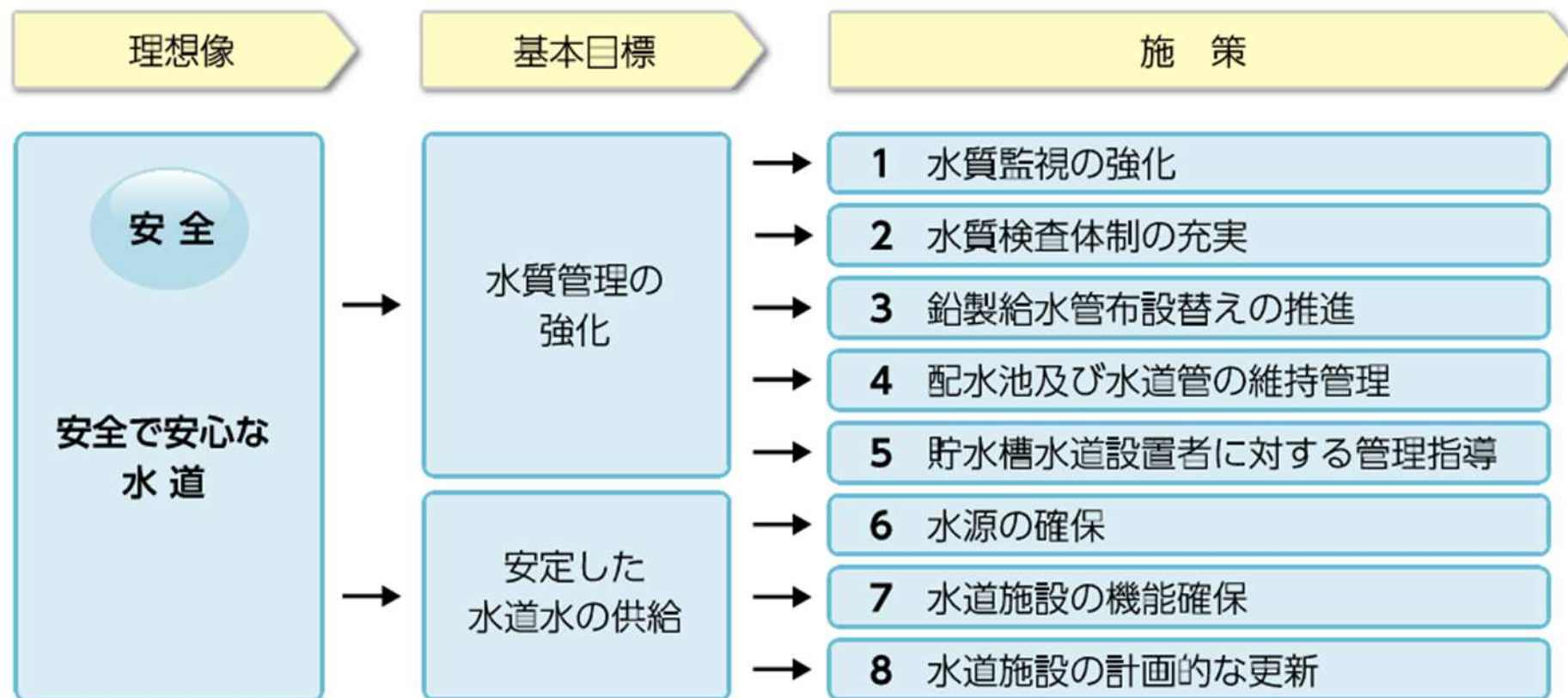


理想像は、国の「新水道ビジョン」において示された「安全」・「強靱」・「持続」の方向性を踏まえている

1 水道事業ビジョン2020について

(2) 水道事業ビジョン2020の概要

3つの理想像の実現に向けて、各基本目標と施策を設定した



1 水道事業ビジョン2020について

(2) 水道事業ビジョン2020の概要

3つの理想像の実現に向けて、各基本目標と施策を設定した



1 水道事業ビジョン2020について

(2) 水道事業ビジョン2020の概要

3つの理想像の実現に向けて、各基本目標と施策を設定した



1 水道事業ビジョン2020について

(3) 各種指標の概要と進捗状況

【説明の趣旨】

- ・ ビジョンで掲げる17指標の概要
- ・ 策定時の現況値（H30）と計画前期の進捗状況
- ・ 達成度評価

... 現状でR10目標値を達成しており、
今後も同様に推移する見込みが高い



○ ... R10目標値の達成に向けて、順調に推移している

... R10目標値の達成が困難である



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：項目)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
A201	原水水質監視度	177	177	177

※原水水質監視度 = 原水水質監視項目数

【説明】 1 年間に行う水質検査の項目数 (= 水質管理の水準を表す)

【目標】 現況値 (177成分の検査) の維持を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
177	177	179	179	179

R3以降は2成分 (PFOS・PFOA) の検査を追加実施♪

評価	コメント
◎	・ 目標値達成しており、今後も同様に推移する見込み



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：箇所 / 100km²)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
A202	給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度	8.7	8.7	8.7

※給水栓水質検査 (毎日) 箇所密度 = (給水栓水質検査 (毎日) 採水箇所数 / 現在給水面積) × 100

【説明】 給水面積に対する水質検査の箇所密度 (= 水質管理の水準を表す)

【目標】 現況値 (8.7) の維持を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
8.7	8.7	8.7	8.7	8.7

水質検査状況



評価	コメント
◎	・ 目標値達成しており、今後も同様に推移する見込み



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
A401	鉛製給水管率	34.7	29.0	25.2

※鉛製給水管率 = (鉛製給水管使用件数 / 給水管件数) × 100

【説明】水質や老朽化の問題がある鉛製給水管の残存割合

【目標】R10年度末時点の鉛製給水管の残存割合...25.2%

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
34.7	39.5	39.1	38.5	37.8

R2に実態調査が完了したため、
H30→R2は残存割合が上昇した

評価	コメント
△	・R6.1月に鉛製給水管解消実施計画を策定し、解消に取り組んでいるものの、目標達成は難しい



がんばろネ!

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：％)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
A203	配水池清掃実施率	82.8	100	100

※配水池清掃実施率 = (5 年間に清掃した配水池有効容量 / 配水池有効容量) × 100

【説明】配水池有効容量に対する 5 年間の清掃実施率

【目標】5 年に 1 回の配水池の清掃実施率 (100%) を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
82.8	67.4	68.3	62.3	100

配水池の清掃



評価	コメント
○	・ 目標値達成に向け、順調に推移している

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：件 / 10 年・箇所)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B201	浄水場事故割合	0	0	0

※浄水場事故割合 = 10 年間の浄水場停止事故件数 / 浄水場数

【説明】 10年間ににおける浄水場の停止事故割合

【目標】 浄水場の停止事故なし (0 件) を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
0	0	0.13	0.13	0.13

「 0 」には戻せないものの、
再発防止に取り組んでいる

評価	コメント
△	・ R3に九頭竜浄水場にて配水ポンプの一時停止事故が発生したため、0.13 (= 1件/8浄水場) となっている



がんばろネ!

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：km)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
ー	無ライニング铸铁管残存数	45	20	0

【説明】管内面に防食対策が施されていない铸铁管の残存延長

【目標】R10年度末までに残存管の全面解消を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
45.0	36.3	31.8	27.1	24.0

無ライニング铸铁管



評価	コメント
○	・ 目標値達成に向け、順調に推移している

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B602	浄水施設の耐震化率	8.6	8.6	91.5

※浄水施設の耐震化率 = (耐震対策の施された浄水施設能力 / 全浄水施設能力) × 100

【説明】浄水施設（8施設）の耐震化率

【目標】九頭竜浄水場の更新等を進め、R10年度末時点で91.5%を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
8.6	8.6	8.6	8.6	8.6

九頭竜浄水場



評価	コメント
△	・ビジョン策定時の計画と比較し、九頭竜浄水場の更新事業が遅延しており、目標達成は難しい



がんばろネ! 16

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B604	配水池の耐震化率	37.5	53.0	57.5

※配水池の耐震化率 = (耐震対策の施された配水池有効容量 / 配水池等有効容量) × 100

【説明】配水池（23施設）の耐震化率

【目標】原目配水池の更新を進め、R10年度末時点で57.5%を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
37.5	38.8	43.4	43.5	43.5

【配水池耐震化率（R4末）】

県内平均...50.0%

全国平均...63.5%

評価	コメント
○	・現在までに12施設の耐震化が完了しており、R10の目標値達成に向け、原目配水池の更新を進めている

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：％)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B607	重要給水施設配水管路の耐震管率	47.6	70	100

※重要給水施設配水管路の耐震管率＝(重要給水施設配水管路のうち耐震管延長／重要給水施設配水管路延長)×100

【説明】原目配水池～県立病院経由～福井赤十字病院までの管路の耐震化率

【目標】R10年度末までに、未施工である病院間の管路耐震化の完了を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
47.6	51.1	53.1	59.7	66.4

耐震管の耐震性



評価	コメント
○	・目標値達成に向け、順調に推移している

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B606	基幹管路の耐震管率	31.8	42.1	50.6

※基幹管路の耐震管率=(基幹管路のうち耐震管延長/基幹管路延長)×100

【説明】重要度の高い区間の管路の耐震化率

【目標】R10年度までに、九頭竜原目送水管の施工等を進め、50.6%を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
31.8	35.8	37.5	39.6	41.7

【基幹管路耐震適合率（R4末）】

県内平均...44.2%

全国平均...42.3%

評価	コメント
○	・目標値達成に向け、順調に推移しているものの、 県内平均や全国平均を下回っている

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：人/1000人)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
C403	水道施設見学者割合	45.8	46	46

※水道施設見学者割合 = 見学者数 / (現在給水人口 / 1,000)

【説明】九頭竜浄水場やマイアクア（森田浄水場）への見学者割合
 【目標】水道に関する情報発信を実施し、現況値微増の「46」を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
45.8	20.1	25.3	38.8	71.5

浄水場の見学



評価	コメント
○	・R2～R4は新型コロナウイルス感染症予防等のため、一部施設の見学を中止していたが、R5は目標値を達成した

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
C102	経常収支比率	115	115	105

※経常収支比率 = (経常収益 / 経常費用) × 100

【説明】 経常的な費用に占める収益の割合、100%が健全経営の目安とされる

【目標】 経営環境が厳しくなる中においても、R10年度値で105%を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
115	127	125	124	114

【類似団体平均値】

110%

(R4年度末時点)

評価	コメント
◎	・健全経営の目安となる100%を上回って推移している ・目標値達成に向け、順調に推移している



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
C112	給水収益に対する 企業債残高の割合	386	330	320

※給水収益に対する企業債残高の割合 = (企業債残高 / 給水収益) × 100

【説明】 企業債の残高割合、少ない方が望ましいが一定程度はやむを得ない

【目標】 年毎に割合を減少させ、R10年度値は「320%」を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
386	309	311	304	303

【類似団体平均値】

295%

(R4年度末時点)

評価	コメント
◎	・ 類似団体平均には及ばないもの、目標値達成しており、目標値達成に向け、順調に推移している



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：時間/人)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
C203	内部研修時間	8.3	9	9

※内部研修時間 = (職員が内部研修を受けた時間 × 受講人数) / 全職員数

【説明】技術の継承のため、職員が局内研修をどの程度受講したかを示す

【目標】 R10年度値で現況値 (8.3) 微増の「 9 時間/人」を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
8.3	8.3	7.7	3.6	5.1

局内研修の様子



評価	コメント
△	・近年は受講実績が停滞しているが、局内技術研修センター主催研修の充実によって、目標値達成を目指す



がんばろネ! 23

1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B306	建設副産物のリサイクル率	52.3	50	50 以上

※建設副産物のリサイクル率 = (リサイクルされた建設副産物量 / 建設副産物発生量) × 100

【説明】建設副産物の再利用率 = 環境保全への貢献度合を示す

【目標】可能な限り再資源化している現状をふまえ、現状維持を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
52.3	63.9	51.0	54.4	55.4

【リサイクル実例】

- ・コンクリート
- ・アスファルト



評価	コメント
◎	・目標値達成しており、今後も同様に推移する見込み



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：%)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B305	浄水発生土の有効利用率	100	100	100

※浄水発生土の有効利用率 = (有効利用土量 / 浄水発生土量) × 100

【説明】 浄水処理過程の発生土の有効利用率 = 環境保全への貢献度合を示す

【目標】 可能な限り有効利用化している現状をふまえ、現状維持を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
100	100	100	100	100

発生土の乾燥



評価	コメント
◎	・ 目標値達成しており、今後も同様に推移する見込み



1 水道事業ビジョン2020について

(単位：kWh/m³)

PI 番号	業務指標 (PI)	現況値	目標値	
		2018(H30)	2024(R6)	2028(R10)
B301	配水量1m³ 当たり電力消費量	0.42	0.4	0.4

※配水量 1m³ 当たり電力消費量 = 電力使用量の合計 / 年間配水量

【説明】 配水処理にかかる電力消費量、少ないほど省エネルギー対策に貢献

【目標】 省電力設備等を導入している現状をふまえ、現状維持を目指す

【進捗状況と達成度評価】

H30	R2	R3	R4	R5
0.42	0.40	0.41	0.41	0.41

太陽光発電設備
(森田浄水場)



評価	コメント
◎	・ 目標値達成しており、今後も同様に推移する見込み



2 ビジョンの中間見直しについて

(1) 中間見直しの趣旨

ビジョンの方向性（基本理念や理想像、施策体系等）は
現行ビジョンのままとする

計画期間の中間点（令和6年度）を迎えることから、

「各施策の達成度の評価や見直し」を実施する

大規模化・頻発化する災害の発生をふまえ、

「災害対応方針や取組み内容の見直し」を実施する

2 ビジョンの中間見直しについて

(2) 中間見直しの内容 (案)

各施策の達成度の評価や見直し

災害対応に関する方針や取組み内容の検討

投資計画及び財政計画の更新

その他時点修正

3 次回委員会について

日 時 令和6年8月下旬 開催予定

会 場 福井市上下水道局庁舎 301 会議室

議 題（案）

各種指標に関する目標値の見直し

災害対応に関する方針と取組み内容の検討

投資計画及び財政計画の更新